

矯正教育におけるアーティスト・ワークショップの可能性



イラスト：中村 理

“愛おしいと思える自分”と、 もう一度出会い直してもらえる機会を…

2022年度からスタートした東日本少年矯正医療・教育センター（少年院）での身体表現ワークショップ。実際に活動に関わった法務省や法務教官、アーティストの方々をお迎えしてお話しします。



登壇者



山本 宏一
法務省矯正局
少年矯正課 課長



向井 信子
元・東日本少年矯正医療・
教育センター 教育調査官



北村 靖子
東日本少年矯正医療・
教育センター
統括専門官 法務教官



隅地 茉歩
ダンスカンパニー
セレノグラフィカ



阿比留 修一
ダンスカンパニー
セレノグラフィカ

プログラム内容

- 〈講演〉生きづらさを抱える少年院の子どもたちへの対応の現状と課題 講師：山本宏一
- 〈講演〉東日本少年矯正医療・教育センター（少年院）でのアーティスト・ワークショップの取り組みについて
～セレノグラフィカによるミニワークショップ付～ 講師：向井信子／北村靖子／隅地茉歩／阿比留修一
- 〈フリーディスカッション〉「矯正」とは何か？ ～子どもたちが社会で生きていくために、アーティスト・ワークショップができること～
登壇者：山本宏一／向井信子／北村靖子／隅地茉歩／阿比留修一

詳細・申込み
はこちら



申込み締切日
12月24日

シンポジウム「少年院 × アーティスト」～矯正教育におけるアーティスト・ワークショップの可能性～

2024年1月14日 13:30～16:00

会場 | IKE・Biz としま産業振興プラザ6F 多目的ホール（池袋駅〈東京都〉西口より徒歩約10分）
定員 | 50名程度（要申込・先着順）参加費 | 無料